

定番から新商品まで
美味なる逸品揃いです

まだまだ あれども 特産品



「北の九州」には、地元の美味しい農産物や水産物を使った加工品やおみやげがたくさんあります。伝統の味から、新たななる挑戦も。そんな特産品が一堂に集まる、特産品館探訪は、いかがですか。

●北九州市 歴史ある発酵食品

【ぬか炊き】

江戸時代、小倉藩主小笠原忠貞ただむねが信濃国から持ち込んだぬか床で、玄界灘の青魚を炊いたのがルーツと言われています。特有の臭みが抜け、ぬか床の旨味、山椒や唐辛子の風味と、蓄積された野菜のエキスが染み込み、魚の旨味を引き出します。小倉では、藩政時代から受け継がれるぬか床も残っているとか。ビタミンやミネラルが豊富で栄養価も高い発酵食品として、今注目されています。



●北九州市

食べるより縮めてみたい

【ネジチョコ】

「ネジチョコ」は、官営八幡製鐵所が世界遺産「明治日本の産

業革命遺産」の構成資産として登録されたことから、鉄をテーマとしたおみやげを何かつくろうと、3Dプリンターを使って試行錯誤の上に誕生したお菓子。ポルトとナットのチョコが、実際に締められる精度であることから、大ヒットした逸品です。



●北九州市

まるで鉄のような？

【くろがね堅パン】

「くろがね」とは鉄を意味する言葉で、大正時代に官営八幡製鐵所（現在の新日鐵住金株八幡製鐵所）で生まれ、名物となったお菓子です。長く保存できるよう、水分を極力少なくしたところ、「堅パン」になりました。まさに鉄のように堅く、噛めば噛むほど味があり、近年非常食

やおやつとしても人気で、製鉄マンのふるさとの味として愛されています。



●北九州市

ビール職人の黄金比

【門司港地ビール】

門司港地ビール工房は、北九州で唯一の地ビール醸造所です。ドイツから取り寄せた様々な種類のモルトを、ビール職人がブレンドしながら最高に美味しいビールの黄金比率を追求し、水はミネラル豊富で腐りにくい性質の門司港の水を使用しています。ビールの種類ごとにホップ、酵母をかえるため、各ビールは

飲み比べも楽しい個性ある味わいに仕上がっています。



●北九州市
名物の立ち売り駅弁
【かしわ飯(弁当)】

九州北部周辺で親しまれてきた郷土料理。駅弁としての歴史も

古く、大正10年の販売開始以来100年近く変わらぬ人気です。JR折尾駅では、全国的にも珍しい立ち売りスタイルに、昔ながらの経木の折り箱出汁が染み込んだ鶏肉の炊き込み御飯の上に、刻み海苔、錦糸卵、細かくほぐしたかしわ(鶏)が彩りよく敷き詰められた、懐かしい味わいです。

●北九州市
お米の優しい甘さ

【門司 猿喰あまぎけ】

門司を元氣にと設立された「さるはみブランド委員会」が、江戸時代中期に干拓された猿喰新田の米で仕込んだ「門司猿喰あまぎけ」。手づくりした「米麴」を普通の甘酒の約3倍も使っていることから、アミノ酸やビタミンなどの栄養が豊富。驚くほどのうま味と、米本来の優しい甘さが特徴です。



●直方市
揚げ物も油を吸わずサクサク

【直方産米粉】

直方産の米を原材料としている米粉は、小麦粉のようにグルテンが入っていないため、くっつきにくくダマになりにくいのので後片付けも簡単です。揚げ物はカラッとあがり、サクサクの食感が冷めても続きます。消化がゆるやかで腹持ちも良く、小麦粉より油を吸いにくいので、カロリーも控えめなヘルシーフードです。



●直方市
今も昔も変わらず

【成金饅頭】

明治時代、直方で豆の投機に失敗し処分に困った人が、その豆であんを練り饅頭にして売り出したとか。名前は当時の直方が炭鉱の町として知られ、財を成した「成金さん」にちなんだものです。その後、ネジ梅の焼き印を押して直方の銘菓となりました。「一山当てれば大金持ちに成れる」と男たちのロマンをその名に残した「成金饅頭」。現在は、市内4店舗がその伝統を受け継いでいます。



●行橋市
手づくりのやさしさ

【いちじくジャム】

いちじくは、食物繊維やミネラル分が豊かで、古来は不老不死の果物とも呼ばれていました。行橋市ではフルーツの里「新田原」を中心にいちじくが栽培され、福岡県でも有数の産地として知られています。いちじく本来の、やわらかな甘味と酸味のバランスのとれた味わいを活かし、保存料などを使わずにつくられた「いちじくジャム」です。





●行橋市
行橋のふるさとのお味

【味噌だれおでん】

おでんと言えば、そのまま食べるか、からしを付けて食べるのが定番ですが、行橋では古くから甘辛い味噌だれを付けて食べるのが主流です。戦後間もない頃、市内のラーメン店が考案して広がったもので、しょうがが効いた味噌だれは、癖になる味わいと行橋市民に親しまれています。その定着ぶりは、市内のコンビニエンスストアでも、おでんに味噌だれがつく店舗があるほどです。

●豊前市
美しい甘酒

【にじいろ甘酒】

江戸時代から続く百年蔵で、昔ながらの製法で作られている「にじいろ甘酒」。基本の米糀、くろ米、発芽玄米、八女抹茶に、博多あまおうや、ブルーベリー、トマトなど、旬の果実や野菜を使用した季節限定のフレーバーもあり、並べるとにじいろに。福岡県産の原料にこだわり、アルコールゼロ・無添加・砂糖不使用で、米糀の自然な甘さと、果実や野菜などの甘みが程よく合わさり、スッキリと優しい味に仕上がっています。



●豊前市
本格派の万能ペースト

【棚田ゆずペースト】

棚田で育つゆずの苦みと甘み、香り、食感を大切にしながら開発された「ゆずペースト」は、地元の「豊前川底柿加工グループ」がつくる自慢の逸品です。原材料はゆずとほんの少しのグラニュー糖。デザートに添えて、ヨーグルトと混ぜて、料理の風味づけに、お菓子の素材に。限界集落に生業の光を灯した物語いっぱいのお豊前名物です。



心をこめてつくる加工品は今や20数種類

●中間市
半世紀を超すふるとの味

【ほのぼの味噌】

厳選された米・大豆・塩のみでつくられる「ほのぼの味噌」。米は市内で収穫されたものを、大豆は遠賀、中間で収穫されたものを原材料としています。余分なものはいっさい使うことなく、地元産の原材料にこだわり抜いた手づくり味噌。原料がシンプルだからこそ、味を左右する手順や温度管理は、1987年から引き継がれるこだわり製法。伝統の味わいです。



●中間市
梅サイダーで学業成就

【梅サイダー】

学問の神様として知られる菅原道真公を祀る「梅安満宮」の敷地内で収穫された梅を100%使用した「梅サイ

「ダー」。梅安天満宮社殿にサイダーを奉納し、学業成就や合格のご祈願済みといううれしい逸品。受験生に人気のご当地ドリンクとなっております。



●宮若市

大賞受賞のソース

【あまおうソース】

芯まで熟した「あまおう」のシロップ。ヨーグルトやアイスクリーム、パンケーキはもちろん、牛乳で割ると綺麗なピンク色のドリンクに。東京ビッグサイトで行われた「グルメ&ダイニングスタイルショー秋2011」において、フード部門の大賞を受賞した逸品です。



●宮若市

竹が器の素敵なちまき

【竹千寿】

竹のように節目がある人生の中で喜び事やお祝い事を重ねてほしいという願いを込めて、「竹千寿」は誕生しました。最初は、農家にとってやっかいものとなっていた竹をどうにかできないかというのがきっかけ。素材のほとんどは宮若をはじめ、九州の新鮮な食材を贅沢に使い、本物の竹を使った器に包み込まれました。青竹の香りに包まれた風味豊かなちまきです。



●芦屋町

忘れ得ぬ銘菓

【あしや釜もなか】

芦屋釜をかたどった「あしや釜もなか」は、知る人ぞ知る芦屋銘菓。地元の人がお土産として持って行き、ファンになった遠方の方がわざわざ買いに来るほど。たっぷりと入った粒あんは、小倉と抹茶の2種類。国産あずきにこだわっています。すべて手づくりで添加物は一切使っていないため、嫌な甘さが口に残らず、素朴な味わいで老若男女問わず人気です。



●水巻町

一家にひとつの万能みそ

【でかにんにくみそ】

通常のニンニクの約5倍という大きさで、においがほのかな「水巻でかにんにく」のペーストと味噌のブレンド。あつあつご飯につけて食べたり、チャーハンの隠し味にしたり。炒めた野菜や肉にあえるだけで、深い味わいのご飯がすすむおかずになります。ひとつあれば、料理の強い味方になる万能みそ。地元のお母さんたちにも大人気です。



●芦屋町

家々の秘伝の味

【みりん干し】

芦屋町のおみやげは何といっても、獲れたての新鮮な海の幸が一番。筑前あしや「海の駅」では、いけすの中で泳ぐ魚を、その場で調理してもらい食べることもできます。イリコや「あしやみりん」も大人気。「あしやみりん」は、新鮮なマイワシを漁師の奥さん方が、醤油・砂糖・みりんに漬け込み、天日で干してつくります。味付けは家々に伝わる秘伝の味です。



●水巻町

にがりで安心安全なお米

【にがり米】

遠賀川の恵みにあふれる水巻町の農家が栽培する、にがりを使ったこだわりのお米。50倍に薄めたにがりを送水口から田んぼに流し込みます。普通の栽培に比べて、甘みがあると好評です。雑草管理やジャンボタニシ対策など課題もありますが、これからもより美味しいお米を提供していくため日々研究を重ねている、安心安全なお米です。



●岡垣町

無農薬栽培だから毎日でも

【高倉びわ茶】

岡垣町はびわの出荷量が福岡県一を誇り、その歴史は1000年を超えます。岡垣町の高倉び

わの葉だけを使った「高倉びわ茶」。貝化石という有機肥料を使って育てられた高倉びわの葉には、牛乳の約18倍ものカルシウムが含まれています。無農薬栽培のため、安心して毎日飲むお茶です。



●岡垣町

名工の技が生む岡垣の酒

【本格芋焼酎「岡垣」】

岡垣町の遊休農地を利活用し、町をあげて特産品作りに取り組んだ末に完成した本格芋焼酎「岡垣」。現代の名工・黒瀬安光氏が、岡垣の大地ではぐくまれた芋「黄金千貫」と、岡垣の良質な地下水で仕上げた本格芋焼酎です。華やかな香りと風味、芋焼酎の中でも飲みやすく、女性にも大人気。ロックでいただくのがおすすめです。



●遠賀町

丁寧な手技でつくるジャム

【遠賀ふきのジャム】

大きいもので1メートル40センチほどにもなる「遠賀ふき」繊維質やミネラルたっぷりであり、香りよく、柔らかく、灰汁や苦みが少ないため、子どもたちにも食べやすいようにとの思いから生まれました。筋を一本一本丁寧に取り、じっくりと灰汁を抜き仕上げます。収穫から瓶詰めまで商工会女性部の方の手作業で行われる、愛情のこもったジャムです。



●遠賀町

黄金色に輝く一番搾り

【菜種油】

遠賀川のほとりに咲く菜の花を特産品にできないかと始まった菜種油づくり。非遺伝子組換品種である「ななしきぶ」を100%使い、鉄釜煎り、圧搾一番搾り化学処理なしの昔ながらの製法で搾っています。コレステロール低下や美容に効果があるといわれるオメガ9系が多く含まれた、黄金色に輝く一番搾りの菜種油。国産品は0.1%と言われる希少な菜種油です。



一面の菜の花は遠賀町の春の風物詩



●小竹町
ジャムおばさんの味わい

【ブルーベリージャム】

炭鉱のまちだった小竹町のポタ山跡を「山の里自然農園」として再生し、つくられたブルーベリージャム。大らかな自然の中で土づくりにこだわり、農薬を使わずに大事に育てられた新鮮なブルーベリーを贅沢に使いました。園のジャムおばさんがつくくる手づくりの美味しさをお楽しみください。



●小竹町
幻の黒バーガー

【KETAKO バーガー】

パンズが真っ黒な小竹のご当地バーガー「KETAKOバーガー」。旧産炭地の石炭をイメーグし、町名にちなんで竹炭を入れました。ふわっと柔らかい真っ黒なパンズに挟まれた、軟骨入りの鶏肉メンチカツが、コリコリとした食感で人気を博しています。祭りなどのイベント限定でしか食べられない幻のバーガーですが、次の出店を心待ちにする人も多いご当地バーガーです。



●鞍手町

鞍手の農産品ブランド



【鞍手う希】

「鞍手う希（くらてうまれ）」とは、鞍手産の農産品ブランドを総称した名前です。肥沃な大地と、生産者たちの熱い想いから生み出された「希望」の産物である「鞍手う希」は町内外から大きな注目を浴びています。現在はおどう（巨峰）、いちじく（とよみつひめ）、いちご、たまご（味宝卵、貴黄卵）がブランドとして高い評価を得ています。

●鞍手町

伝説の味再び

【きらくソース】

昭和42年、鞍手町中山で開店した「きらく食堂」。安くて美味しいと大好評。中でも人気なのが、店主の創意工夫で生まれた「きらくソース」。とろっとした食感と癖になる辛さのきらくソースを使ったお好み焼きや豚の肉焼きは、たちまち食堂の看板メニューに。平成14年に惜しまれながら閉店した「きらく食堂」の伝説のソースを復刻したい！という多くの声から生まれたソースです。



きらくソースの復刻に携わった鞍手町商工会青年部のみなさん

● 香春町
採銅所の干し柿は風物詩

【干し柿】

香春町の採銅所地区は、寒暖差が大きく山々に挟まれ谷風が吹かれていました。福岡原産の渋柿「葉隠し」を、全国的にも珍しい「あま干し柿」という製法で丁寧に手作業で仕上げます。餡色のぼつてりとした丸いかたちと美しい艶、上品な味。シーズンも短く、貴重な逸品。冷凍すると新感覚のデザートとして楽しめます。



JA たがわ採銅所園芸部会のみなさんによる出荷作業風景



● 香春町
皇居にも奉納されたお米

【香春れんげ米】

蜜飛び交う清流の里・香春町で育ったお米「香春れんげ米」。減化学肥料栽培で、昔ながらのレンゲを肥料として使用し、水管理や、病害虫の発生を抑制する厳しい管理のもと栽培されています。また、平成25年には、香春町鏡山地区で畝穀斎田が設けられ、新嘗祭が開催されました。収穫されたお米は皇室献上米として、皇居や明治神宮に奉納されました。

● 荻田町
車の形のキュートなお菓子

【ホームグラウンド】

小麦粉のかわりに荻田町の白川地区の米粉を生地に使うことで、外はパリッと、中はふんわりとしたダックワース「ホームグラウンド」が

ムグラウンド」ができました。自動車産業が盛んな荻田町にちなみ、車の形をした見た目にもかわいいお菓子。乗り物が大好きな子どもたちのおやつにも大人気です。



● 荻田町

伝説の味をまちの力で再び

【松会みそ・松会漬】

「松会みそ」は、山伏たちが修行に持ち歩いた秘伝の味噌で、地元のお母さんたちが伝統の味を守り続けています。山べりの清流で育った白川米、福岡県産の大豆、自然塩をあわせ、天然

酵母を8カ月間ゆっくりと自然熟成させる甘みとコク。この松会みそに有機栽培の大根、人参、こしょうの葉などを漬け込み1年寝かせた「松会漬」も、ご飯がすすむ逸品です。



● みやこ町

4段階で味わえる柚子胡椒

【柚子こしょう シリーズ】

みやこ町犀川の、秘境と呼ばれる鐘畑の清らかな自然の中で栽培された唐辛子と柚子でつくる、こだわりの柚子胡椒。粉末、ドレッシング、ほん酢などがあり、「ものたりねえ」、「そげねえ」、「こもねえ」、「とほもねえ」の3〜4段階の辛さが楽しめます。なかでも、「とほもねえ」は、痛いくらいの刺激が癖になる一本です。



●みやこ町
珍しいジビエカレー

【みやこ肉カレー】

みやこ町で育った猪と鹿は、ジビエならではの脂の旨みと滋味豊かな味わい。栄養も、ビタミンB2が牛・豚の約3倍もあります。タマネギやトマト、リンゴなどにイノシシン肉を加えてじっくり煮込んだ辛口の「いのししカレー」と、ミンチ肉にゴボウやニンジンなどの根菜類をふんだんに入れて甘口に仕上げた「しかカレー」。全国でも珍しいジビエカレーです。



ひとつひとつ手作業のようかんづくり

●上毛町
手間暇かけた味わい

【ほし柿ようかん・ゆずようかん】

上毛町の「川底柿」は、小倉藩主にも献上され、400年以上の歴史があるといわれる渋柿の一種です。「大平川底柿生産組合」は、この川底柿をほし柿にして一年間ほど熟成し、北海道産の小豆の餡と練り上げる「ほし柿ようかん」を加工しています。上品な甘さと、懐かしい味わいの上毛名物です。



●上毛町

レモンの香りただよう

【レモンケーキ&黒レモンケーキ】

上毛町で栽培された無農薬栽培のレモンを使ったレモンケーキと黒レモンケーキ（ビターチョコを使用）。開発に半年間を費やしたスイーツです。レモンをふんだんに使い、上品な香りと、しっとりとした口当たりのケーキとなりました。春には可憐な



白いレモンの花が咲き、畑一面がなんともいえない良い香りにつまれます。寒さと害虫に弱いレモン栽培は難しく、まだまだ少ない国産レモン。希少で人気のスイーツです。



●築上町

宇都宮氏最後の頭領の名

【麦焼酎 城井鎮房】

戦国時代、黒田氏に滅ぼされた宇都宮氏の最後の頭領・宇都宮鎮房の名を冠した麦焼酎「城井鎮房」。本拠地とした築上町の観光協会が企画しました。焼酎は豊前市の後藤酒造が築上町産の大麦を原料に、宇都宮氏ゆかりの正光寺の地下水「知恵水」を使用して仕込みました。常圧

蒸留製法で味、香りとも濃厚に仕立て、黒田軍を苦戦させた武將らしい味の仕上がりという自信作です。



●築上町

隊員の間で評判の味を再現

【隊員食堂カレー】

全国の航空自衛隊員の間で美味しいことで知られていた「築城基地隊員食堂カレー」。築城基地給養小隊の料理長が試作を繰り返し、隊員食堂の味を見事に再現したレトルトカレーは大ヒット。牛肉を一晚赤ワインに漬けて込んでつくる、辛さもしつかりとした本格的な味わいです。





春の訪れを告げる梅、桜と
始まり、心うきたつよう
な花景色につつまれる「北
の九州」。手をかけて咲か
せるもの、自生している
もの、人知れず色づく紅
葉など。各市や町の開花
情報をどうぞお楽しみに。

花と樹

45



上／梅・築上町の「網敷天満宮」(2月下旬～3月中旬)
下／サクラ・北九州市の「白野江植物公園」(2月～4月下旬)

左ページ

上／桜と菜の花・行橋市の「今川河畔」(4月初旬～中旬)
中右より／なんじゃもんじゃの花・芦屋町の「岡湊神社」(4月下旬～5月初旬)
チューリップ・行橋市の「行橋花公園」(4月初旬)
ツクシジャクナゲ・豊前市の「犬ヶ岳」(4月下旬)
下／フジ・北九州市の「河内藤園」(4月中旬～5月中旬)





上右／カノユリ・中間市の「月瀬八幡宮」(7月中旬～下旬)

下／ひまわり畑・築上町の赤幡、本庄(7月中旬～8月中旬)

上左／しょうぶ・みやこ町の「豊津花菖蒲公園」(5月下旬～6月中旬)

下右／はまゆう群生地・芦屋町の「夏井ヶ浜」(7月上旬～8月初旬)

左／あじさい・北九州市の「高塔山」(6月中旬～7月上旬)

左ページ上／銀杏・水巻町の「八剣神社(やつるぎじんじゃ)」(11月中旬～下旬)

下右／紅葉・築上町の「メタセの杜」(11月中旬～下旬)

左／紅葉・直方市の「紅葉の森」(11月上旬～下旬)





●築上町・大楠神社

【本庄の大楠】

推定樹齢 1900年。全国巨樹巨木調査で全国第5位の巨木です。日本三大楠の一つでもあり、国の天然記念物に指定されています。毎年10月頃にこの大楠をライトアップし、クラシックコンサートが開かれます。



● 岡垣町・高倉神社

【高倉宮の綾杉】

高倉神社の境内にそびえ立つ樹齢700年の綾杉は、神功皇后が植えられたという言い伝えが残っています。一度大友宗麟の兵火にあいきましたが、焼け残った幹の一部から枝が繁茂し現在に至っています。



● 芦屋町・岡湊神社

【千光院の大ソテツ】

もとは明治時代の廃仏毀釈で廃寺となった千光院の跡にある悠々たるソテツ。天草四郎の島原の乱に福岡藩の支藩、直方藩からも出陣し、戦いの後、原城内から持ち帰ったものといわれています。県指定天然記念物です。

● みやこ町・蔵持山神社

【蔵持の大杉】

英彦山六峰のひとつに数えられる修験の道場として栄えた蔵持山。修行を終えた山伏たちが、山の神への感謝の印に植えたのがこの大杉といわれています。樹齢800年とされ、高さ41メートルほどとなった今もお、生き生きとした緑の葉を茂らせています。



● 香春町・神宮院

【神宮院の大銀杏】

天台宗の開祖である最澄が創建した神宮院の境内には、樹高約40メートル、樹齢850年という巨大な大銀杏があり、福岡県天然記念物に指定されています。



「北の九州」では、いろんな移住施策が行われています。外から移り住んで、働きながら地域に貢献する「地域おこし協力隊」も、任期後も定住するケースが多く、その活躍は注目を集めています。

みんなでつくった竹垣光る

そんな中、平成29年、小竹町の「こたけ創造舎」がオープンしました。まずは「小竹で暮らす」ことをイメージしてもらおうと、小竹駅から徒歩5分の空家を改修したものの。その改修工事では、町の人たちで、柱や窓、家具や床の汚れをふき、大掃除をしました。地元の素材と技を使い、近畿大学の学生さんと一緒に、ワークシヨップでつくった、焼いて磨いた竹垣がひとときわ光っています。ゆったりとした縁側もある築50年の木造建築。手づくりの本棚には町の人たちの推薦文がそえられた本が並び、本格的なキッチンも備えた、おしゃれで、心地いい空間に生まれ変わりました。小さい町だからこそその良さは、訪れただけではわからないものです。ぜひ、お試しを。

お試し居住

試しに暮らしてみないとわからないこといっぱいあります

46





直方市 復興の平川

春になり
桜でそま
かせん
かぜん
直方自慢

大和
22-2608

商店街

47

シャッター通りでも
イベントの日は大賑わい
子どもたちも応援します

直方市の古町・須崎町・明治町・殿町の全商店街で毎月5日に行われる「直方五日市」は、昭和34年から700回あまり続く伝統の名物市です。普段は、今一つ寂しい商店街も、この日は、市内外から、たくさん買い物客で賑わいます。そのアーケードを飾るのが、「直方谷尾美術館（直方市美術館）」の子どもスタッフの絵です。年間をとおして、美術館で頼もしく活動する子どもたちの表現が、のびのびと商店街を彩ります。成人式の祝い幕も描き、式ではお祝いの言葉も贈るといふ子どもスタッフ。「直方自慢」の絵は、賑わいだけでは計れない、まちの底力を感じさせる出来映えです。

廃校活用

時として100円居酒屋にもなる
みんなの笑顔がきららに輝く
生まれ変わった小学校

48



上/ゆいきららシスターズのみなさん
左ページ上/100円居酒屋の賑わい
下右/民泊の風景 左/摘み草体験の収穫

残したいという
卒業生たちの思い通じて

上毛町の蛍の名所、西友枝にある、色褪せた淡いグリーンにピンクの縁どりをほどこした可愛らしい木造校舎。明治7年(1874)に創立され、130年以上学びの舎として歴史を刻んだ旧西友枝小学校です。

卒業生をはじめ、校舎保存を望む地域の思いが叶い、平成24年に「西友枝体験交流センター ゆいきらら」として生まれ変わりました。

校内には黒板や机、小学生による絵や掲示物がそのまま残り、修験道の地、松尾山の豊かな緑に抱かれた校庭からも、子どもたちの元気な声が今にも聞こえてきそうな、懐かしい山里の校舎は、訪れる人に「おかえりなさい」と語りかけるよう。

そして、全国が目にするユニークな取り組みが2カ月に1度、土曜日に開催される「100円居酒屋」。地元の女性たちで結成された「ゆいきららシスターズ」が地

元素材でつくる、できたての惣菜が100円から。給食室で使っていた巨大回転釜による熱々のおでんもあります。

卒業生の集まりは昔話に花が咲き、子どもたちもワクワク。内から、外からと、参加した人びとが交流しながら楽しむ居酒屋は、笑顔が絶えません。

人と人のふれあいを意味する「ゆい(結い)」と、笑顔が輝く「きらら」で「ゆいきらら」。体験学習や合宿の拠点としても人気で、廃校活用の素敵な例として、全国に名を馳せています。

里山に泊まる楽しみ

「ゆいきらら」は、簡易宿泊所でもあり、合宿所としても人気です。摘み草体験や山野草の料理を楽しむこともできます。他に民泊もあり、里山の暮らしを肌で感じる交流プログラムが豊富なグリーンツーリズムのまち。上毛町にゆっくり泊まって、里山の人の温かさ

にふれる一日はいかがですか。



サブカルの聖地

鞍手町の「くらて学園」

平成27年、鞍手町の廃校となった鞍手南中学校の活用案として、一冊の企画書が提出されました。プール、体育館、音楽室、理科室、教室、職員室と、本物の学校を使ったオタク文化イベントを行うというもの。

半信半疑だった町でしたが、圧倒的に学園ものが多いコスプレ（アニメやゲームなどの登場人物やキャラクターに扮すること）ファンの間で、SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）で拡散され、150人もの人が集まります。

その頃は、まだ電気やトイレといったライフラインも整っていないかつ

たにもかかわらず、教室でメイクと衣装で変身し、日本では許可が難しい、リアルな学校での撮影を思う存分楽しむ姿がありました。定期的にイベントを行うごとに「生徒」は増え、リピート率60%というサブカルチャー（独自の信条を持つ人々の独特な文化）の聖地へ。架空であり、しかしリアルな「くらて学園」は、日本をしのぐ勢いでコスプレ文化が浸透しつつある海外にまで知られるようになります。

表現の場、生業の場へ

くらて学園の教室の黒板に綴られた、映画や出版の夢。廃校活用としての本当のすごさは、アニメ制作用の貸しスペースがあったり、本格的なスタジオ撮影、同人誌や写真集の印刷、加工、製本といった制作も安価にできる専門機器を揃えた、創造空間へと進化していること。誰もいなくなった学校は、今、その空間を最大限に活かしながら、サブカルチャーが生業となる、夢叶う空間として再生しています。



七色の煙が街の誇り

いち早く近代化の扉を開き、戦後復興と高度経済成長を支えた重化学工場が建ち並び、日本の四大工業地帯となった北九州市。その空は、酸化鉄の「赤」、カーボンの「黒」、セメントの「白」など、当時、工場群から昇る色とりどりの煙は、「七色の煙」といわれ、街の誇りでもありました。

しかし、その煙やガスは、その虹色とは裏腹に工場周辺の人びとの健康を黒く蝕み始めていました。外で遊ぶ子どもたちの顔は煤で汚れ、洗濯物は黒ずみ、ぜんそくなどの健康被害もあらわれました。そのため廃校に追い込まれる小学校もあつたほどです。

「青空が欲しい」

そんな中、「青空が欲しい」のスローガンを胸に立ち上がったのは、お母さんたちでした。旧戸畑市の中原婦人会は、シーツやワイシャツを数カ月間外に干し、洗濯しても落ちないほどの大気汚染の実態を調査し、市

議会を通じて工場に改善を迫りました。その結果、昭和26年に工場は集じん機を設置することとなり、女性の力による公害克服の第一歩となりました。その後、戸畑の三六地区婦人会も菓子空き箱を庭において降灰量を測るなど活動の輪が広がります。

昭和40年からは戸畑区婦人会協議会として取り組み、慣れない8ミリを手で撮影した記録映画、「青空がほしい」を自主制作。公害の恐ろしさと婦人会の奮闘ぶりを、広く伝えたのです。この映像をきっかけに、婦人会の活動やマスコミ報道により、公害の実態が社会に知られることで、市民、行政、企業の環境対策への取り組みが強まることになりました。

「死の海」に魚が戻る日

その頃、北九州市は、大量の降下ばいじんの大気汚染に見舞われ、洞海湾は、魚はおろか大腸菌もすめない状態となり、「死の海」とすら呼ばれるようになっていました。

昭和46年、北九州市は法律の規制対

象外の施設のうち、一定の規模以上のものを規制する独自の「北九州市公害防止条例」を制定し、公害防止に全力をあげることとなりました。環境測定データに基づいて、市と企業は、徹底的な議論を重ねて改善のための計画をつくり、「公害防止協定」を締結して市民の健康保護と生活環境の確保に努めました。

洞海湾では、官民で費用を負担し、有害物質を取り除く浚渫工事が行われると同時に下水道整備を進めました。こうして、水質は大幅に改善され、100種類を超える魚介類の生息が確認され、多くの野鳥が飛来す

るまでに死の海は回復しました。こうして、昭和50年代の後半には、青い空と海が戻ってきました。

この公害を克服した経験は、さまざまな国への技術支援へと繋がり、環境汚染という世界が直面する問題の解決の糸口となっています。その原点は、洗濯物や映像で公害を誰にも見えるかたちにし、社会を動かした、お母さんたちでした。子どもたちを思い、見いだした「青空が欲しい」のスローガンは、公害克服の歴史の表紙に、しっかりと刻まれています。

青空

49

七色の煙、死の海
公害克服の歴史の原点は
お母さんたちでした



皿倉山から洞海湾をのぞむ



上/北九州エコタウン見学者 140 万人突破記念
下右/自動車リサイクル工場見学 下左/エコタウンセンターにて

リサイクルも
次世代エネルギーも
みな石炭の歴史と
つながっています

エコ

50



北九州市の環境マスコットキャラクター、「ていたん&ブラックていたん」。鼻と口には、よく見ると、「エコ」の文字。
公害克服の歴史をもつ北九州市は、時代に先駆け、「エコタウン」として、「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること」、いわゆるゼロ・エミッションを目指してきました。石炭産業の衰退とともに、エネルギーや資源の効率的活用のための環境技術開発が、いち早く進んでいたことが、その土台にあります。リサイクル工場が数十社集まる響灘地区の海岸沿いには、次世代エネルギーの象徴、風力発電の巨大風車が、潮風に吹かれ、まわる姿。
その風車の近くに、「北九州市エコタウンセンター」があり、暮らしの中のエコの意味を、産業とともに学ぶ場所として、たくさんの子どもたちがやっています。鉄のかたまりになった自動車を見たり、工場見学に行ったり。頭だけではわからない、「びっくり」や、「へえ」の体験がいっぱいで、年間10万人が訪れています。

51 ビオトープ

誰も予想できなかった
産廃埋め立て地におきた奇跡

ドイツ語で、生命の「bio」と場所を意味する「topos」をあわせ、いろんな生き物が生息する空間のことを、「ビオトープ」といいます。

昭和55年、響灘地区で廃棄物の埋め立てが始まりました。それが長年そのままとなるうち、湿地や淡水池、草原へと姿を変え、実にさまざまな生物が生息するようになりました。普通、廃棄物埋立地は、平らに土で覆わなければなりません。しかしデコボコの生息環境をそのまま残すため、地形を変えないよう一定に50センチの土で覆い、さらに、希少生物の出現時期を避け、生き物を移動させながら、数年にわたり、共生しながらの整備を行っていきました。それが「響灘ビオトープ」です。自然創成としては、日本最大級の41

ヘクタール。ネイチャーセンターもオープンし、緑地として一般開放されるようになりました。

絶滅危惧種の飛来

鳥が運んできた種が芽を出し、淡水魚が泳ぎ、そして、絶滅危惧種の「ベッコウトンボ」やタカ科の「チュウヒ」までもが飛来します。今や、バードウォッチャーをはじめとする、生態系観察の聖地となり、生きもの好きが集う、北九州高校の「魚部」の活動拠点ともなっている響灘ビオトープ。誰も予想しなかった、産廃埋め立て地の再生と、はかなき生き物にも選ばれし自然環境への回帰。その奇跡に出会う場所です。

下右/響灘ビオトープ
左上より/絶滅危惧種のチュウヒ 生き物観察会
絶滅危惧種のベッコウトンボ



夜景

見慣れた風景が宝でした
工場の美しい夜景
それは、「北の九州」が歩んできた
ものづくりの歴史の輝き

52



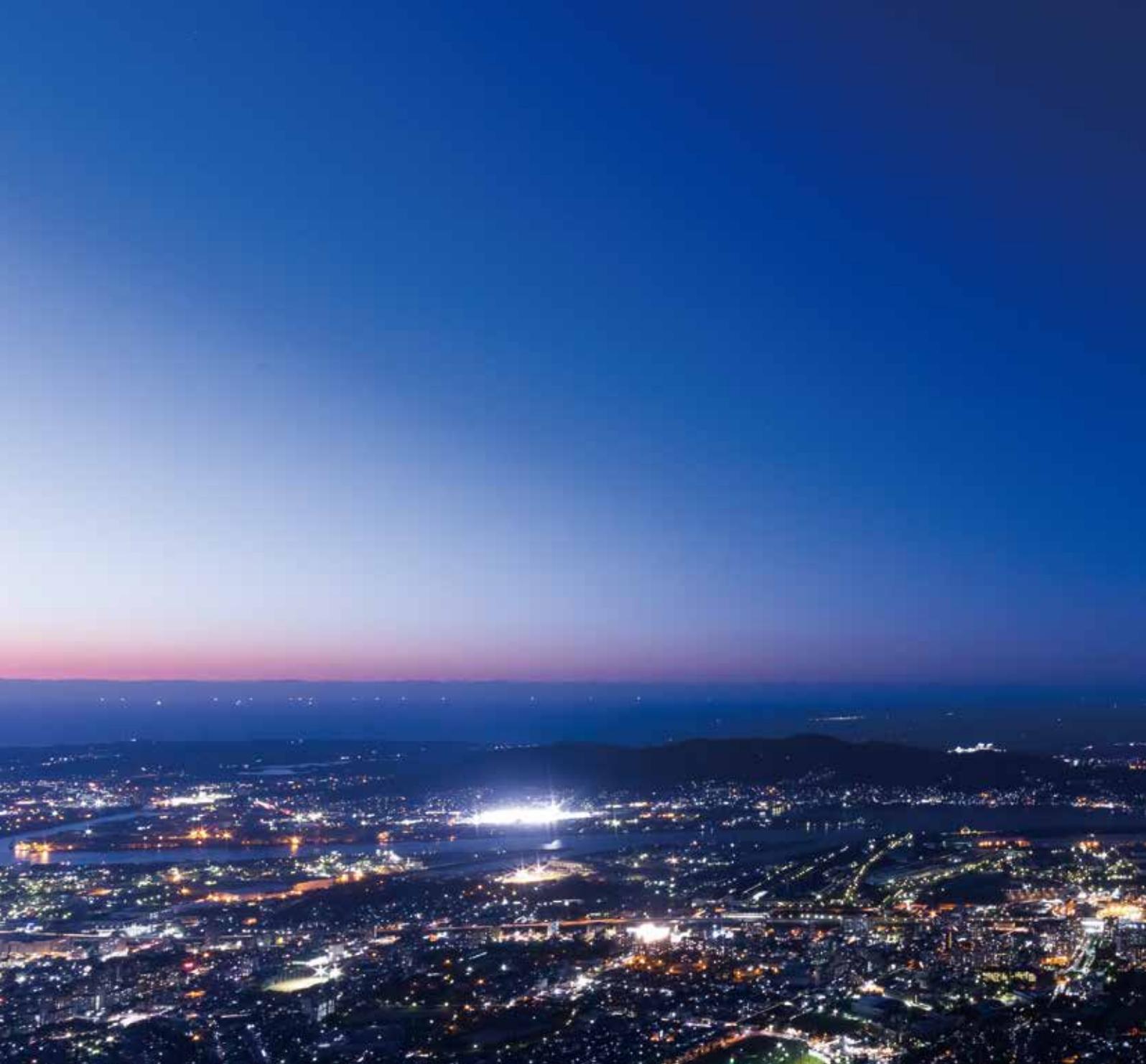
それは、ものづくりの光

明治34年（1901）の官営八幡製鐵所の操業以来、日本の近代化をリードし、製鉄、化学、窯業、セメント関連の煙突が立ち並び、自動車産業や、それらのものづくりを支える関連産業が集まる「北の九州」。

日暮れになると、その工場群はシルエットとなり、照明がつくと、独特の光を放ち始めます。暗くなるにつれ表情を変える、煙突からあがる水蒸気や、ガスを燃焼させる「フレアスタック」。それは、日々見慣れた風景でした。

そのとらえ方が大きく変わったのは2000年代になってからのこと。工場の煙突、配管、タンク群の、重厚な「構造美」を鑑賞する輪がインターネットを中心に広がり、工場群の風景に独特の「美」を見出す人がとが現れ始めました。機能美を備えたトラス、複雑に入り組んだコンビナート、工場が生きているかのような圧倒的スケールの光は、「工場夜景」という、新しい世界観を加えたのです。

街のすぐ近くに工場群が広がり、皿



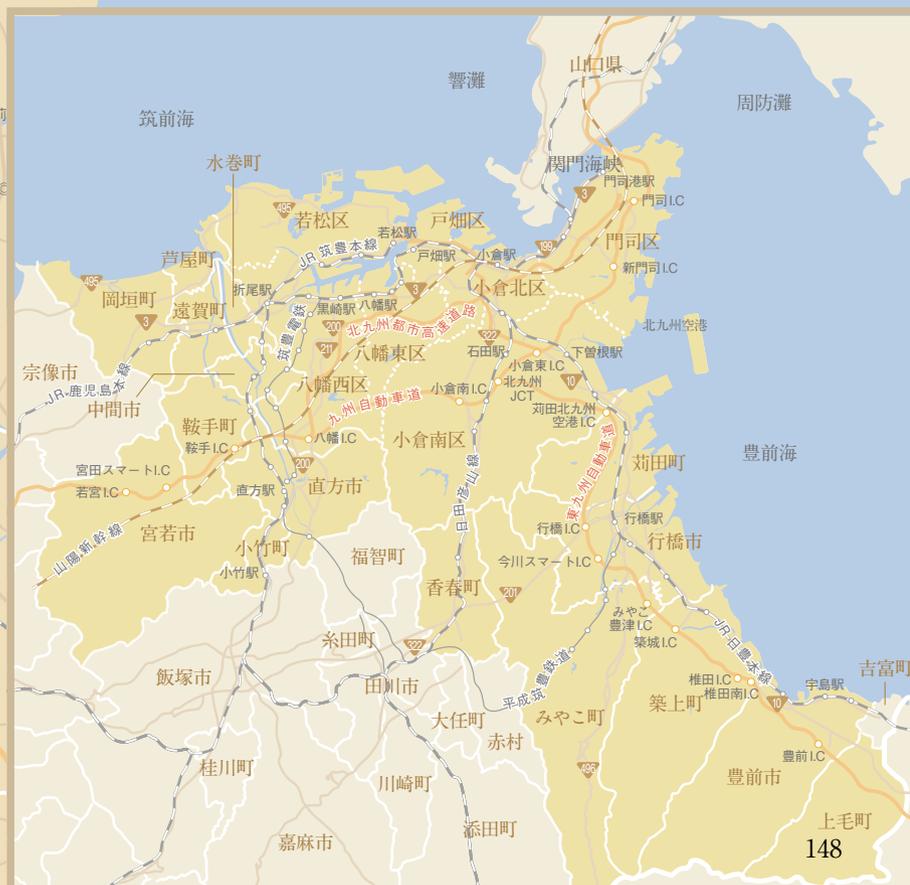
倉山など、数多くのビューポイントがある北九州市では、「工場夜景クルーズ」も誕生します。

海から見る物語

クルーズ船の中は灯りを消して、工場によってまったく違った光の趣を、船の揺らぎの中で見つめる時間です。地域の「夜景ガイド」のご案内に耳を傾ければ、鉄鋼はもちろんのこと、発電から化学製品、ロボットまで、つくっているもの、そして工場の中で働く人の姿も見えてくるようで、なおのこと光が輝いて見えます。すぐそばで見るクレーンの迫力。若戸大橋をくぐる時には、上とは違った高揚感で、このクルーズは反響をよび、今では定期便となりました。

石炭を積み出す船がひしめいていた洞海湾、何本もの線路を走らせ、ものを運び、港から遠く海外へと送り出してきた先人たち。今に至る歴史を、夜景は静かに物語ります。昔からあったはずの風景が、新たな誇りとなって。今宵も「北の九州」のまちは、輝き始めます。

北の九州 MAP



- 文化施設
- 美術館・博物館・資料館
- 歴史・観光施設
- 図書館
- 特産品販売所
- 宿泊施設
- 公園・その他レジャー施設

北九州市エリア

3km

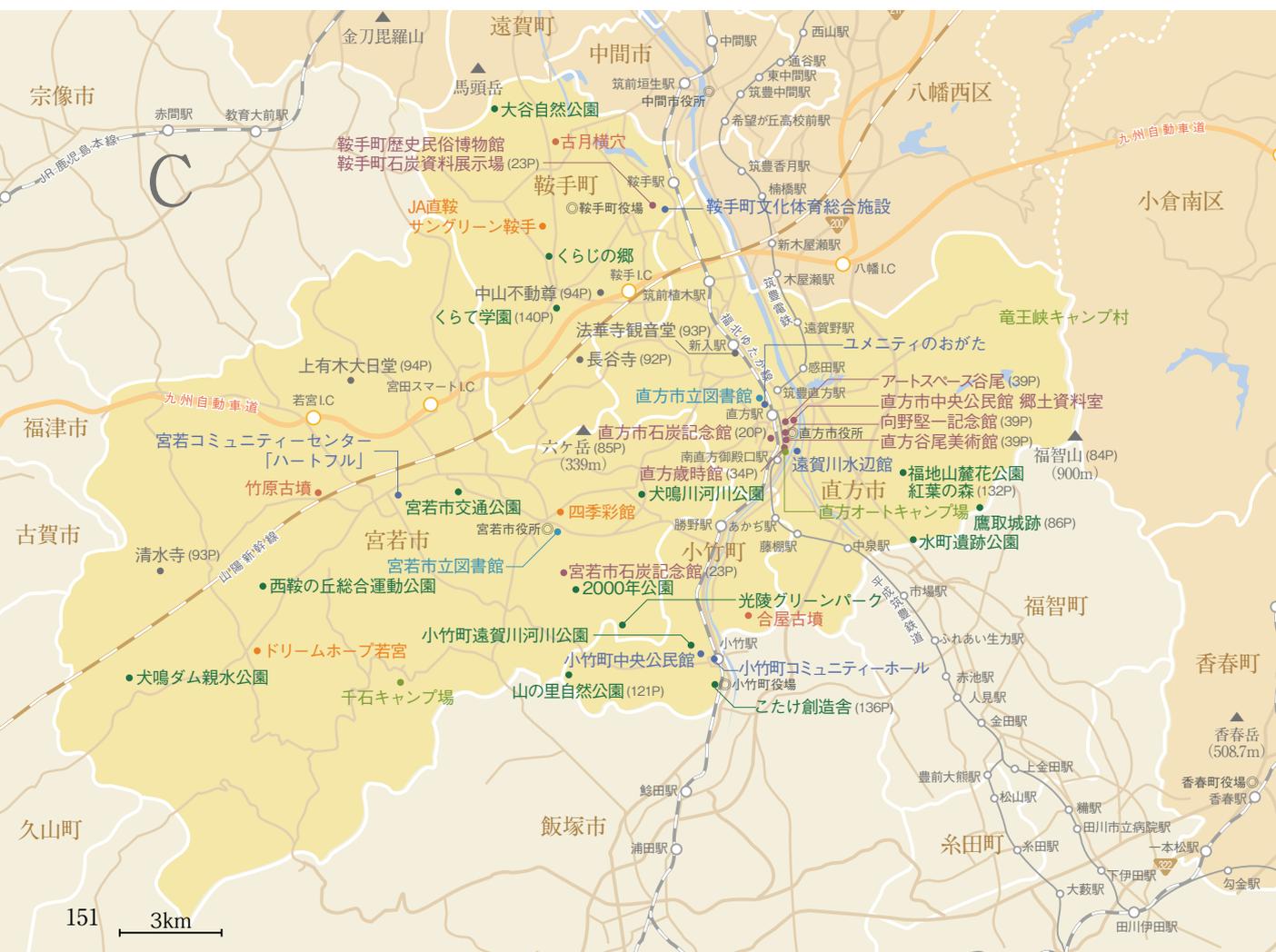


A



- 文化施設
- 美術館・博物館・資料館
- 歴史・観光施設
- 図書館
- 特産品販売所
- 宿泊施設
- 公園・その他レジャー施設

3km 150



主な施設リスト

文化施設

小倉城庭園	093-582-2747	北九州市小倉北区内 1-2
小倉城	093-561-1210	北九州市小倉北区内 2-1
松本清張記念館	093-582-2761	北九州市小倉北区内 2-3
北九州市立文学館	093-571-1505	北九州市小倉北区内 4-1
北九州ソレイユホール	093-592-5405	北九州市小倉北区大手町 12-3
北九州芸術劇場	093-562-2655	北九州市小倉北区室町 1-1-1
北九州市立響ホール	093-662-4010	北九州市八幡東区平野 1-1-1
黒崎ひびしんホール	093-621-4566	北九州市八幡西区岸の浦 2-1-1
ユメニティのおがた	0949-25-1007	直方市大字山部 364-4
コスメイト行橋	0930-25-2300	行橋市中央 1-9-3
豊前市立多目的文化交流センター	0979-53-9535	豊前市大字八屋 1776-2
豊前市市民会館	0979-82-2705	豊前市大字八屋 2009-3
若宮コミュニティセンター「ハートフル」	0949-52-1111	宮若市福丸 272-1
芦屋釜の里	093-223-5881	遠賀郡芦屋町大字山鹿 1558-3
岡垣サンリーアイ	093-282-1515	遠賀郡岡垣町野間 1-2-1
小竹町コミュニティホール	09496-2-1215	鞍手郡小竹町 2169-2 JR 小竹駅内
小竹町中央公民館	09496-2-0452	鞍手郡小竹町大字勝野 1757
鞍手町文化体育総合施設	0949-42-7200	鞍手郡鞍手町大字小牧 2105
香春町町民センター	0947-32-2162	田川郡香春町大字高野 987-1
苅田町中央公民館	093-436-0061	京都郡苅田町京町 2-5
サン・グレートみやこ	0930-32-5540	京都郡みやこ町勝山黒田 86-1
げんきの杜	0979-72-1455	築上郡上毛町大字八ツ並 143-1
築上町文化会館コマーレ	0930-56-1777	築上郡築上町大字椎田 962-8

美術館・博物館・資料館

出光美術館（門司）	093-332-0251	北九州市門司区東港町 2-3
北九州市立美術館 分館	093-562-3215	北九州市小倉北区室町 1-1-1 リバーウォーク北九州 5 階
北九州市立水環境館	093-551-3011	北九州市小倉北区船場町 1-2
北九州市漫画ミュージアム	093-512-5077	北九州市小倉北区浅野 2-14-5 あるある City5・6 階
森鷗外旧居	093-531-1604	北九州市小倉北区鍛冶町 1-7-2
櫓山荘公園		北九州市小倉北区中井浜 4
曾根干潟・カプトガニ自慢館	093-471-7710	北九州市小倉南区曾根新田南 4-1-2
火野葦平資料館	093-751-8880	北九州市若松区本町 3-13-1 若松市民会館内
河伯洞（火野葦平旧居）	093-771-0124	北九州市若松区白山 1-16-18
現代美術センター CCA 北九州	093-695-3691	北九州市若松区ひびきの 2-5 学術研究都市
北九州市エコタウンセンター	093-752-2881	北九州市若松区向洋町 10-20
北九州産業技術保存継承センター （北九州イノベーションギャラリー）	093-663-5411	北九州市八幡東区東田 2-2-11
北九州市立自然史・歴史博物館 （いのちのたび博物館）	093-681-1011	北九州市八幡東区東田 2-4-1

北九州市環境ミュージアム	093-663-6751	北九州市八幡東区東田 2-2-6
北九州市立児童文化科学館	093-671-4566	北九州市八幡東区桃園 3-1-5
北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館	093-619-1149	北九州市八幡西区木屋瀬 3-16-26
北九州市立美術館	093-882-7777	北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町 21-1
直方谷尾美術館（直方市美術館）	0949-22-0038	直方市殿町 10-35
アートのスペース谷尾（直方市美術館別館）	0949-22-0038	直方市古町 10-20
直方市石炭記念館	0949-25-2243	直方市大字直方 692-4
直方市中央公民館 郷土資料室	0949-25-2326	直方市津田町 7-20
遠賀川水辺館	0949-22-1810	直方市溝掘 1-1-1
行橋市歴史資料館	0930-25-3133	行橋市中央 1-9-3
求菩提資料館	0979-88-3203	豊前市大字鳥井畑 247
豊前市立埋蔵文化財センター	0979-82-5287	豊前市大字八屋 1776-2
中間市歴史民俗資料館	093-245-4665	中間市大字垣生 660-1
中間市屋根のない博物館	093-246-6260	中間市中央 2丁目
宮若市石炭記念館	0949-32-0404	宮若市上大隈 573
芦屋歴史の里（歴史民族資料館）	093-222-2555	遠賀郡芦屋町大字山鹿 1200
水巻町歴史資料館	093-201-0999	遠賀郡水巻町古賀 3-18-1
遠賀川河川事務所「遠賀川河口館」	093-201-1675	遠賀郡水巻町猪熊 10-7-1
岡垣町文化財展示室	093-282-6118	遠賀郡岡垣町海老津駅前 10-16 2階 地域交流センター内
おんがふれあいの里 民俗資料館	093-293-2030	遠賀郡遠賀町浅木 2-31-1
鞍手町歴史民俗博物館・鞍手町石炭資料展示場	0949-42-3200	鞍手郡鞍手町大字小牧 2097
香春町歴史資料館	0947-32-8410	田川郡香春町高野 987-1
苅田町歴史資料館	093-434-1982	京都郡苅田町富久町 1-19-1
みやこ町歴史民俗博物館	0930-33-4666	京都郡みやこ町豊津 1122-13
上毛町歴史民俗資料館	0979-72-4719	築上郡上毛町大字安雲 840
築上町歴史民俗資料館	0930-52-3771	築上郡築上町大字椎田 1646

歴史・観光施設

旧門司税関	093-321-4151	北九州市門司区東港町 1-24
門司港レトロ展望室	093-321-4151	北九州市門司区東港町 1-32
関門海峡ミュージアム	093-331-6700	北九州市門司区西海岸 1-3-3
旧大連航路上屋	093-322-5020	北九州市門司区西海岸 1-3-5
旧門司三井倶楽部・林芙美子記念室	093-321-4151	北九州市門司区港町 7-1
北九州市旧大阪商船	093-321-4151	北九州市門司区港町 7-18
九州鉄道記念館	093-322-1006	北九州市門司区清滝 2-3-29
上野ビル(旧三菱合資会社若松支店) 本館	093-761-4321	北九州市若松区本町 1-10-17
旧古河鉱業若松ビル	093-752-3387	北九州市若松区本町 1-11-18
官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース	093-582-2922	(北九州市企画調整局世界遺産課) 北九州市八幡東区大字枝光
皿倉山ケーブルカー	093-671-4761	北九州市八幡東区大字尾倉 1481-1
旧百三十銀行ギャラリー	093-661-9130	北九州市八幡東区西本町 1-20-2
旧高崎家住宅（伊馬春部生家）	093-618-2132	北九州市八幡西区木屋瀬 4-12-5
旧松本家住宅（西日本工業倶楽部）	093-871-1031	北九州市戸畑区一枝 1-4-33
直方歳時館	0949-25-2008	直方市新町 1-1-18
行橋赤レンガ館（旧百三十銀行行橋支店）	0930-23-7724	行橋市大橋 3-7-14
守田蓑洲旧居	0930-23-5559	行橋市沓尾 181

遠賀川水源地ポンプ室	093-245-4665	中間市土手ノ内 1-3-1
中間市唐戸水門	093-246-6224	中間市中間 2 丁目
芦屋町観光協会	093-221-1001	遠賀郡芦屋町大字芦屋 1455-284
堀川歴史公園	093-201-0999	遠賀郡水巻町吉田東 3 丁目
岡垣町観光ステーション 北斗七星	093-281-5050	遠賀郡岡垣町大字原 670-34
豊前国分寺三重塔	0930-33-4666	京都郡みやこ町国分 279-1
旧藏内邸	0930-52-2530	築上郡築上町大字上深野 396 番地
船迫窯跡公園体験学習館	0930-52-3771	築上郡築上町大字船迫 1342-22

図書館

北九州市立門司図書館	093-321-6515	北九州市門司区老松町 3-3
北九州市立国際友好記念図書館	093-331-5446	北九州市門司区東港町 1-12
北九州市立中央図書館	093-571-1481	北九州市小倉北区内 4-1
北九州市立若松図書館	093-761-2942	北九州市若松区本町 3-11-1
北九州市立八幡図書館	093-671-1123	北九州市八幡東区尾倉 2-6-1
北九州市立八幡西図書館	093-642-1186	北九州市八幡西区岸の浦 2-2-1
北九州市立戸畑図書館	093-871-3464	北九州市戸畑区新池 1 丁目 1-1
直方市立図書館	0949-25-2240	直方市大字山部 301-11
行橋市図書館	0930-25-1911	行橋市中央 1-9-3
豊前市立図書館	0979-82-6500	豊前市大字八屋 1776-2
中間市民図書館	093-245-4664	中間市蓮花寺 3-1-2
宮若市立図書館	0949-32-0710	宮若市宮田 6-1
芦屋町図書館	093-223-3677	遠賀郡芦屋町中ノ浜 4-4 芦屋町中央公民館 1・2 階
水巻町図書館	093-201-5000	遠賀郡水巻町古賀 3-18-1
岡垣サンリーアイ図書館	093-282-5566	遠賀郡岡垣町野間 1-2-1
遠賀町立図書館	093-293-9090	遠賀郡遠賀町今古賀 513
荻田町立図書館	093-436-0946	京都郡荻田町富久町 1-17-8
みやこ町中央図書館	0930-33-1040	京都郡みやこ町豊津 1122-12
上毛町立図書館	0979-72-1633	築上郡上毛町大字八ツ並 143-1
築上町図書館	0930-56-5171	築上郡築上町大字稚田 962-8 築上町文化会館コマーレ内

特産品販売所

豊前海北部漁協 柄杓田地区	093-341-8911	北九州市門司区大字柄杓田 1420
大地の恵み 門司店	093-481-1071	北九州市門司区吉志 1-3-11
豊前海北部漁協 恒見支所	093-481-0055	北九州市門司区恒見 1364
旦過市場	093-521-4140	北九州市小倉北区魚町 4-2-18
大學堂	080-6458-1184	北九州市小倉北区魚町 4-4-20 (旦過市場)
北九州東部漁協吉田地区	093-471-7627	北九州市小倉南区大字吉田 2778-2
曾根漁協	093-471-7128	北九州市小倉南区曾根新田北 3-13-7
大地の恵み 西中店	093-451-5139	北九州市小倉南区徳吉西 1-4-11
大地の恵み 曾根店	093-471-7827	北九州市小倉南区下曾根 4-23-30
JA ショップ「結い」	093-962-1943	北九州市小倉南区横代東町 1-6-1
かっぱの里 若松店	093-741-6070	北九州市若松区大字弘川 470-1
汐入の里	093-742-4111	北九州市若松区安屋 3710
かっぱの里 八幡店	093-618-0101	北九州市八幡西区馬場山東 2-9-7

直方市観光物産振興協会	0949-28-8135	直方市古町 17-2
しんNEWグァーグァー市場	0949-22-6965	直方市大字上新入 2024-1
新鮮食広場 なのはな畑	0949-22-0191	直方市大字植木 4137-1
アグリー福智の郷	0949-26-3723	直方市大字頓野 569-27
ギャラリーのぐち	0949-25-0091	直方市殿町 15-16
行橋市観光物産情報コーナー	0930-25-0086	行橋市西宮市 2-1-1
JA 福岡京築 今井直売所	0930-22-8057	行橋市今井 1270-1
JA 福岡京築 延永直売所	0930-25-3017	行橋市中津熊 481
JA 福岡京築 今川直売所	0930-24-2442	行橋市天生田 998
道の駅「豊前おこしかけ」	0979-84-0544	豊前市大字四郎丸 1041-1
うみてらす豊前	0979-64-6717	豊前市大字宇島 76-31
JA 福岡京築 豊前ふれあい市場	0979-82-8783	豊前市大字八屋 1776-5-2
中間市新鮮市場さくら館	093-245-8311	中間市大字垣生 659
JA 北九 やさい畑 なかま店	093-245-0422	中間市中間 3-4-12
JA 直鞍 四季菜館	0949-33-1015	宮若市本城 555-1
ドリームホープ若宮	0949-54-0141	宮若市脇田 224-1
追い出し猫本舗	0949-52-3666	宮若市福丸 181-8
筑前あしや 海の駅	093-223-5620	遠賀郡芦屋町大字山鹿 2291
農産物直売所 夢工房	093-202-5588	遠賀郡水巻町頃末北 1-19-12
JA 北九 やさい畑 みずまき店	093-203-3510	遠賀郡水巻町猪熊 1-8-17
やっぱあ〜岡垣	093-282-6799	遠賀郡岡垣町桜台 1-23
駅前サービスセンター	093-293-8233	遠賀郡遠賀町遠賀川 1-6-5
JA 北九 やさい畑 おんが店	093-293-1123	遠賀郡遠賀町今古賀 632-3
JA 直鞍 サングリーン鞍手	0949-42-8888	鞍手郡鞍手町大字新延 140-2
道の駅 香春	0947-32-8727	田川郡香春町大字鏡山 1870-1
JA 福岡京築 ふれあい市場 苜田店	093-436-1040	京都郡苜田町京町 1-12-1
等覚寺特産グループ	0930-22-8060	京都郡苜田町山口 2558
よってこ四季犀館	0930-42-3339	京都郡みやこ町犀川生立 54-1
国府の郷	0930-33-6620	京都郡みやこ町国作 464-1
しゃくなげの里	0930-43-5801	京都郡みやこ町犀川帆柱 国道 496 号線沿い
JA 福岡京築 採れたて市場	0930-32-2931	京都郡みやこ町勝山蓑田 1302
道の駅 しんよしとみ	0979-84-7077	築上郡上毛町大字大ノ瀬 304-1
さわやか市大平	0979-72-3945	築上郡上毛町大字下唐原 1621
物産館メタセの杜	0930-52-3828	築上郡築上町大字弓の師 765
築上町寒田生産物直売所 まこちの里	0930-54-0111	築上郡築上町大字寒田 2005-3

宿泊施設

矢筈山キャンプ場	093-332-0887	北九州市門司区大字大里
足立青少年の家キャンプ場	093-571-2712	北九州市小倉北区寿山町 7-14
平尾台自然の郷キャンプ場	093-452-2715	北九州市小倉南区平尾台 1-1-1
堀越キャンプ場	093-931-1286	北九州市小倉南区大字堀越
帆柱キャンプ場	093-671-6561	北九州市八幡東区権現山北斜面
畑キャンプセンター	093-618-3951	北九州市八幡西区大字畑 2193-2
しょうぶ谷キャンプ場	093-751-8683	北九州市若松区大字小石
金毘羅キャンプ場	093-882-4281	北九州市戸畑区金比羅町

竜王峡キャンプ村	0949-26-0141	直方市大字上頓野 184-1
直方オートキャンプ場	0949-25-2200	直方市新町地先
行橋市オートキャンプ場	0930-25-3355	行橋市葦島 895
求菩提キャンプ場	0979-88-3063	豊前市大字鳥井畑 247-3
千石キャンプ場	0949-34-7784	宮若市宮田 2058-1
遠賀総合運動公園	093-293-6525	遠賀郡遠賀町広渡 23-6
蛇淵キャンプ場 清流の郷 帆柱	0930-45-7011	京都郡みやこ町犀川帆柱 969-1
牧の原キャンプ場	0930-52-0001	築上郡築上町大字寒田 2005-2
龍城院キャンプ場	0930-52-0001	築上郡築上町大字真如寺 1-1
行橋市研修センター ゆくとピア	0930-25-3355	行橋市今井 3758
国民宿舎マリンテラスあしや	093-223-1081	遠賀郡芦屋町大字山鹿 1588

公園・その他レジャー施設

和布刈公園	093-582-2464	北九州市門司区大字門司
白野江植物公園	093-341-8111	北九州市門司区白野江 2丁目
小森江子供のもり公園	093-582-2464	北九州市門司区大字小森江・羽山 2丁目
勝山公園	093-582-2464	北九州市小倉北区内
足立公園	093-582-2464	北九州市小倉北区小文字 1丁目・黒原 1丁目・妙見町外
到津の森公園	093-651-1895	北九州市小倉北区上到津 4-1-8
山田緑地・森の家	093-582-4870	北九州市小倉北区山田町
総合農事センター	093-961-6045	北九州市小倉南区横代東町 1-6-1
平尾台自然の郷	093-452-2715	北九州市小倉南区平尾台 1-1-1
文化記念公園	093-582-2464	北九州市小倉南区田原 5丁目
合馬竹林公園	093-582-2464	北九州市小倉南区大字合馬
長野緑地	093-582-2464	北九州市小倉南区大字長野・大字横代
高炉台公園	093-582-2464	北九州市八幡東区中央 3丁目
桃園公園	093-582-2464	北九州市八幡東区桃園 3丁目・4丁目
響灘緑地（グリーンパーク）	093-741-5545	北九州市若松区大字安屋・頓田・竹並・小竹
響灘ビオトープ	093-751-2023	北九州市若松区響町 1-126-1
高塔山公園	093-582-2464	北九州市若松区大字修多羅
夜宮公園	093-582-2464	北九州市戸畑区夜宮 1・2丁目
中央公園	093-582-2464	北九州市戸畑区金比羅町東鞘ヶ谷町・八幡東区高見 5丁目
美術の森公園	093-582-2464	北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町・八幡東区高見 1丁目・山王 4丁目
直方リバーサイドパーク		直方市殿町 7-1（直方市役所前河川敷）
福智山ろく花公園	0949-23-4187	直方市大字永満寺 1498
水町遺跡公園	0949-25-2326	直方市大字上境 49-1
葦島海水浴場（潮干狩り）	0930-25-0086	行橋市葦島
長井浜海水浴場（潮干狩り）	0930-25-0086	行橋市長井
馬ヶ岳城跡	0930-25-1111	行橋市西谷
御所ヶ谷住吉池公園	0930-25-1111	行橋市津積字御所ヶ谷
行橋総合公園	0930-24-4000	行橋市今井 3759
天地山公園	0979-82-1111	豊前市大字大村 1140-1
平池公園	0979-82-1111	豊前市大字八屋 1860-13
ホテルの里清原自然公園	0979-82-1111	豊前市大字大河内 1904
中間市垣生公園		中間市大字植生字八ッ廣 428

中間市屋島公園		中間市長津1丁目27
中間市垣生羅漢百穴		中間市殖生 837-11
西鞍の丘総合運動公園	0949-52-0859	宮若市乙野 634
光陵グリーンパーク	0949-32-0076	宮若市磯光 1668-2
犬鳴川河川公園	0949-32-0773	宮若市本城 65-1
2000年公園	0949-32-1032	宮若市上大隈 450-2
宮若市交通公園	0949-32-0799	宮若市長井鶴 644-4
犬鳴ダム親水公園	0949-32-0519	宮若市犬鳴
芦屋海浜公園・わんぱーく	093-221-1001	遠賀郡芦屋町大字芦屋 1455-284
サイクリングロード(レンタサイクル)	093-221-1001	遠賀郡芦屋町大字芦屋 1455-284
レジャープール アクアシアン	093-223-3481	遠賀郡芦屋町大字芦屋 1455-284
芦屋海水浴場		遠賀郡芦屋町大字芦屋 1455
夏井ヶ浜はまゆう公園		遠賀郡芦屋町大字山鹿夏井ヶ浜
魚見公園		遠賀郡芦屋町大字山鹿 1588
波懸け遊歩道		遠賀郡芦屋町大字山鹿
洞山		遠賀郡芦屋町大字山鹿柏原
水巻町総合運動公園	093-201-4000	遠賀郡水巻町頃末北 3-10-1
多賀山自然公園	093-201-4321	遠賀郡水巻町古賀 3丁目
みどりんぱあーく	093-201-4321	遠賀郡水巻町猪熊 500-1 他
明神ヶ辻山自然公園	093-201-4321	遠賀郡水巻町 1-682-2 他
遠賀川遊歩道	093-201-4321	遠賀郡水巻町猪熊 10丁目
レンタサイクル(岡垣町観光協会)	093-281-5050	遠賀郡岡垣町大字原 670-34
波津海水浴場(岡垣町観光協会)	093-281-5050	遠賀郡岡垣町大字原 670-34
こたけ創造舎	09496-2-1214	鞍手郡小竹町大字勝野 3304
小竹町遠賀川河川公園	09496-2-1212	鞍手郡小竹町大字勝野 3395-9 地先～ 3472-32 地先
山の里自然農園ブルーベリー園	09496-2-5001	鞍手郡小竹町大字新多 1358-3
くらじの郷(鞍手町総合福祉センター)	0949-42-8811	鞍手郡鞍手町大字新延 414-1
くらて学園	0949-28-7890	鞍手郡鞍手町大字新北 993-1
呉ダム溪流公園	0947-32-8406	田川郡香春町大字鏡山
向山公園	093-434-6521	京都郡菊田町若久町 3-31
大熊公園	093-434-6521	京都郡菊田町小波瀬 2-1-1
ほたるの里公園		京都郡みやこ町犀川横瀬
仲哀公園		京都郡みやこ町勝山松田
豊前国府跡公園		京都郡みやこ町国作 450-1
犀川公園(本庄池)		京都郡みやこ町犀川本庄
豊津花菖蒲公園		京都郡みやこ町国分 1240-2
八景山自然公園		京都郡みやこ町国作 1338-1
湯の迫温泉 大平楽	0979-84-7654	築上郡上毛町大字下唐原 1625
大池公園ふれあいの里ログハウス	0979-72-4872	築上郡上毛町大字下唐原 2335-1
西友枝体験交流センターゆいきらら	0979-72-3939	築上郡上毛町大字西友枝 1520
田舎暮らし研究交流サロン	0979-72-1556	築上郡上毛町大字東上 1178
福岡県立ふれあいの家京築	0979-72-4657	築上郡上毛町大字下唐原 2334
物産館メタセの杜 芝生広場	0930-52-3828	築上郡築上町大字弓の師 765
築上町農業公園しいだアグリパーク	0930-56-4555	築上郡築上町大字湊 1292

資料・文献 写真協力

● 資料・文献

- 北九州の近代化遺産／北九州地域史研究会編／弦書房
筑豊の近代化遺産／筑豊近代遺産研究会編／同上
日本の石炭産業遺産／徳永博文著／同上
北九州を歩く／宇佐美明他著／海鳥社
街道と宿場町／アクロス福岡文化誌編集委員会編／同上
福岡県の仏像／アクロス福岡文化誌編集委員会編／同上
福岡の祭り／アクロス福岡文化誌編集委員会編／同上
砧姫物語／水巻みんなで創るふるさと会／同上
青春の門／五木寛之著／講談社
高炉の神様／佐木隆三著／文春文庫
ものづくりの心を未来へ／財団法人 北九州都市協会
海峡の風／轟良子著・轟次雄（写真）／財団法人 北九州市芸術文化振興財団
ふくおか文学散歩／轟良子著・轟次雄（写真）／西日本新聞社
北九州文学散歩／轟良子著・久野利季（写真）／同上
福岡県文化百選 9 歴史散歩編／福岡県・西日本新聞社編／同上
石炭が拓いた北九州の産業と文化／北九州産業技術保存継承センター
鉄が拓いた技術／同上
宇宙技術展／同上
九州鉄道大蔵線／同上
八幡東田ものがたり／同上
平成 27 年度活動紹介／同上
時を刻む／同上
八幡鐵ものがたり／同上
MEISEN SPIRITS／一般社団法人 明専会
日経ビジネス No.1739／日経 BP 社
FUKUOKA STYLE Vol.9～11／福博総合印刷株式会社
名城と城主／株式会社 樫出版社
地域開発 Vol.570／一般社団法人 日本地域開発センター
京築神楽ガイドブック／京築連帯アメニティ都市圏推進会議・神楽の里づくり推進協議会
神楽の里京築／神楽の里づくり推進協議会

● 写真協力

小倉城
うみてらす豊前
国民宿舎マリンテラスあしや
西日本新聞社「季刊のぼろ」編集チーム
築上町教育委員会
北九州市立自然史・歴史博物館
いのちのたび博物館
松野正浩
有限会社 小倉クリエーション
直方市教育委員会
上野焼香春徹山窯
芦屋釜の里
九州国立博物館
福岡県広域地域振興課
加来野江美子
求菩提資料館
北九州農業協同組合
水巻町歴史資料館
株式会社 スピナ
大江香子
北九州市立白野江植物公園
芦屋町観光協会
北九州市エコタウンセンター
北九州市響灘ビオトープ

高山美佳
戸高慶一郎
中西学
林田聡

北九州市
直方市
行橋市
豊前市
中間市
宮若市
芦屋町
水巻町
岡垣町
遠賀町
小竹町
鞍手町
香春町
荏田町
みやこ町
上毛町
築上町

(掲載順・敬称略)
国立公文書館
北九州市立小倉城庭園
小倉祇園太鼓保存振興会
直方市石炭記念館
鞍手町歴史民俗博物館
新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所
中間市観光協会
直方歳時館
旧藏内邸
一般社団法人西日本工業倶楽部
平成筑豊鉄道株式会社
本田崇
九州工業大学 宇宙環境技術ラボラトリー
北九州市立松本清張記念館
北九州市漫画ミュージアム
北九州市立美術館
直方谷尾美術館 (直方市美術館)
ハートランド平尾台 株式会社
平尾台自然の郷

京築びより／京築連帯アメニティ都市圏推進会議
北九州自然ガイドブック 生物編／北九州市立自然史博物館
筑豊の旅／筑豊地区観光協議会
山喜多二郎太展／財団法人 直方文化青少年協会
なのはな／同上
筑豊ぐるり／福岡県
グラフふくおか 通巻 584 号／同上
グラフふくおか 通巻 585 号／同上
ほか、各市町観光パンフレット等





知るほどに
物語ありて
北の九州



平成 29 年 3 月発行

北九州市

北九州市役所 企画調整局政策部政策調整課

福岡県北九州市小倉北区内 1-1

☎ 093-582-2156

直方市役所 企画経営課

直方市殿町 7-1

☎ 0949-25-2230

行橋市役所 総合政策課

行橋市中央 1-1-1

☎ 0930-25-1111 (内線 1422)

豊前市役所 観光物産課

豊前市大字吉木 955

☎ 0979-82-1111 (内線 1173・1174)

中間市役所 企画政策課

中間市中間 1-1-1

☎ 093-246-6234

宮若市役所 総合政策課

宮若市宮田 29-1

☎ 0949-32-0512

芦屋町役場 企画政策課

遠賀郡芦屋町幸町 2-20

☎ 093-223-0881

水巻町役場 企画財政課

遠賀郡水巻町頃末北 1-1-1

☎ 093-201-4321

岡垣町役場 企画政策室

遠賀郡岡垣町野間 1-1-1

☎ 093-282-1211

遠賀町役場 行政経営課

遠賀郡遠賀町大字今古賀 513

☎ 093-293-1234

小竹町役場 まちづくり政策課

鞍手郡小竹町大字勝野 3349

☎ 09496-2-1214

鞍手町役場 政策推進課

鞍手郡鞍手町大字中山 3705

☎ 0949-42-2111 (内線 384)

香春町役場 まちづくり課

田川郡香春町大字高野 994

☎ 0947-32-8408

苜田町役場 協働のまちづくり課

京都郡苜田町富久町 1-19-1

☎ 093-434-1809

みやこ町役場 行政経営課

京都郡みやこ町勝山上田 960

☎ 0930-32-2511

上毛町役場 企画情報課

築上郡上毛町大字垂水 1321-1

☎ 0979-72-3111

築上町役場 企画振興課

築上郡築上町大字権田 891-2

☎ 0930-56-0300